第２０回市民自治推進委員会　産業躍動部会会議録

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 平成３１年　４月１９日（金）　１８時００分～ |
| 開催場所 | アーニス２階会議室 |
| 出席者 | 川田　弘教（部会長）、吉田　武史（副部会長）、鈴木　高士、近井　一夫（部会員）、大澤　玲裕（庁内委員）、荒川　昌伸（アドバイザー）、大越　智輝、塚崎　翔太、安倍　一葉（事務局） |
| 欠席者 | 小川　昌宏、宮下　裕次、安達　陽子（部会員）、森元　俊明（庁内委員） |
| 議題 | ウオーキングツアーの問題点や、その改善等について |

【ウオーキングツアーについて】

●会議の要点

・これまでの話し合いの内容の振り返り

・株式会社登別ゲートウェイセンターからの意見を紹介

・上記を受けての議論

●株式会社登別ゲートウェイセンターの意見を受けての議論内容

○基本方針

・コース内容が専門的すぎることに加え、ガイド確保の問題などから、今の内容ではこのツアーは旅行会社での販売は困難。

・旅行会社での販売も大事だが、最初から採算性を考えるのは難しいかもしれない。商業的に成り立つものでなかったとしても歴史や文化や自然に触れて楽しめるミニツアーがいくつもでき、ウオーキングに関心のある方などを皮切りに、地元の人がまちに興味を持つようになることも大切。また、これまで知られていなかったスポットに地元の人が集まるようになれば、結果的に観光客も訪れるようになると思われる。

・魅力のあるコースをたくさん発掘する中で、結果的にそのうちいくつかが旅行会社に取り扱われるようになるという流れも考えられる。

○コース内容

・軟石というテーマに限定するとターゲットが限られるため、近隣の博物館やアイヌ語地名の場所、漁港、フンベ山、アフンルパル、登別海岸に立ち寄るなど、別の要素を入れることも考えるべき。

・商品化しないとしても、体験はあった方が良い。指導する人がいなくてもできる簡単な加工の体験などを相原商店に依頼するのはいかがか。

・豊浦町の漁業組合がもちつきのイベントを始めたところ、外国人観光客が千人単位で訪れるようになった事例が参考になる。

○目標と達成手法

・旅行会社での販売を念頭に置いた商品化という長期的目標は保持しつつ、短期的には、未活用の観光資源の市民や観光客への浸透を図る。

・その手法として、全市域を対象として、ウオーキングコースや様々な体験ができる場所、ビューポイント等を紹介するマップを作成する。

・マップ完成後、そこに掲載されたスポットをめぐるモニターツアーを市民向けに開催し、部会としての取り組みの成果とする。

・マップの掲載内容の中から特に使えそうなものだけピックアップして旅行会社に期間限定でツアーを実施してもらうことを考える。

○その他

・ガイドがついて歩かずとも、ＩＣＴを活用すれば要所で解説音声を流すことができる。

・人が訪れるようになると、ＳＮＳを通じて自動的に情報発信が行われるようになる。また、募金のためのＱＲコードを貼っておくと募金もされるようになる。

【料理教室について】

・登別温泉調理師登庖会青年部から部会員に対し、家庭で作れる名物料理などの料理教室の開催に協力いただけるという話があった。定期実施にも対応可。

・部会で開催している「地場産品を活用した料理教室」においての協力に向け、次回、安達委員を交えて協議する。

【次回について】

・次回までに、全市域を対象として、マップに掲載できるスポット及び、発行するマップの形式（紙・インターネット上の地図など）を考えてくる。

●観光マップへの掲載内容等について、地場産品を活用した料理教室について

日程：未定